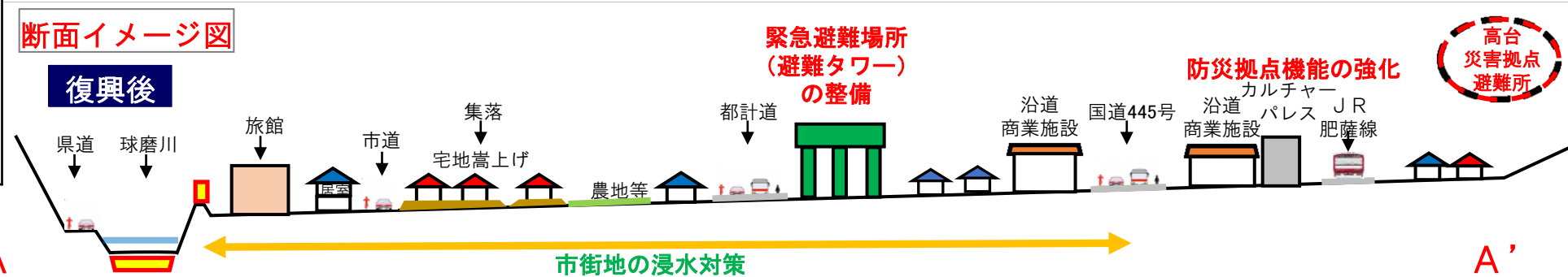
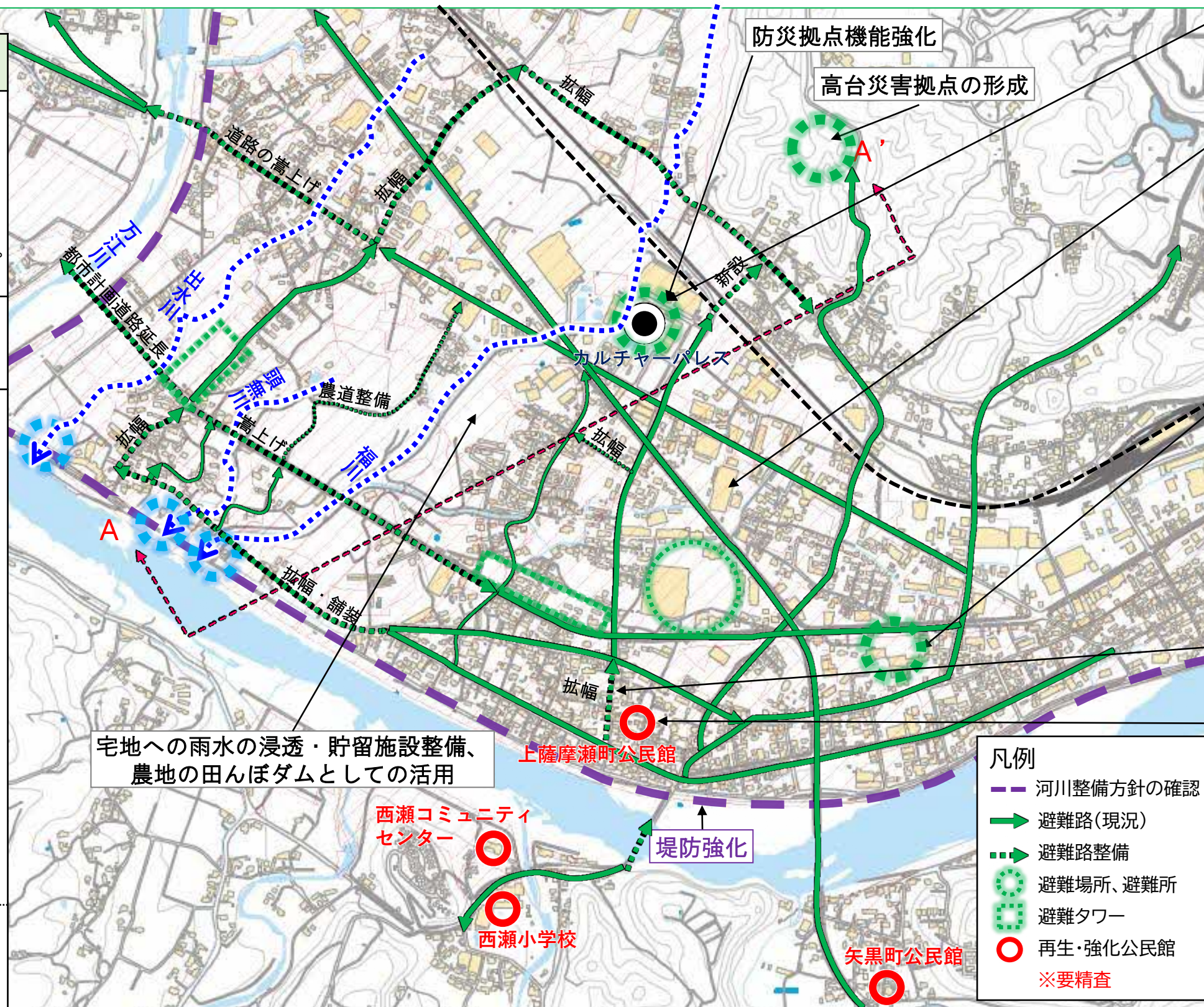


薩摩瀬地区 復興まちづくり計画(たたき台)

- 取組み方針**
 （課題解決のための取組み方針の柱）
- 再建推進に資する治水対策の実施**
 ・現地での住まいの修復や再建を推進するために、安全性を確保する治水対策を実施。
- 公民館の再建、コミュニティの再生**
 ・安全性を確保したうえで、集まって楽しいコミュニティ再生に資する都市施設を急設。
 ・コミュニティ機能を担う公民館の再生。
- 再建農地の選定と再生**
 ・継続意向を確認のうえ、土地の集約化等を行い、持続的な営農を支援。
- 安全な避難路の整備**
 ・安全な避難路の整備を進める。
- 避難所の機能拡充**
 ・コロナに対応した避難所の分散化、福祉避難所、ペット同行避難が可能な避難所など、機能強化を図る。
- 緊急避難場所の整備**
 ・徒歩圏内での緊急避難場所を整備・指定する。（災害公営住宅兼避難ビルの整備等）
- 自助共助の避難体制の構築**
 ・自立的避難が困難な高齢者等、要配慮者を中心として、自身の身の安全も守ることができる仕組みや体制づくりを進める。
- 消防団の組織の強化、人材育成**
 ・水害の避難、その他の災害について、地域防災力を高める地区の消防団の存在が重要であるため、団員間の結束を高めるコミュニティ、地域行事等を推進。
- 氾濫対策の推進・促進**
 ・放水路、排水機場等耐水化、低未利用地を利用した雨水浸透・貯留施設等による内水対策を進め、被害の軽減や避難時間の確保を図る。
- 流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下**
 ・国、県による流域治水の取り組みと連携したまちづくりの実施



カルチャーパレス
 防災拠点としての安全性、機能拡充を推進、市街地からの避難経路を確保。

大型量販店の防災施設活用
 自治体の協働により、大型量販店のBCP等に基づき、災害発生時における商品調達・物流網機能、一時避難所としての施設を利活用(要調整)。

緊急避難場所整備
 避難路沿いに、逃げ遅れた際に逃げ込める想定最大浸水深以上の避難タワー・避難ビルを整備。



災害公営住宅
 （岩手県陸前高田市下和野地区）

避難路整備
 早めの多方向避難が可能となるよう避難路となる道路の拡幅・高上げ。

公民館・コミュニティ施設
 交流の場、防災機能の拡充等を図るとともに、集会所・駐車場を整備。

市街地の浸水対策
 堤防強化、放水路などとともに、高上げ、建物1階ピロティ化、建物構造耐水化などを推進。

農地の集約化、利活用
 継続意向に基づき、有効的な土地利用を推進、条件付きによる農地外転用。

小河川の整備、排水機場整備、耐水化
 小河川の雑草等を定期的に撤去し、清らかな水辺環境を維持するとともに、各小河川の排水機場の整備・耐水化を促進する。

温泉下林地区 復興まちづくり計画(たたき台)

取組み方針

(課題解決のための取組み方針の柱)

□住まい再建における安全性の向上

- ・地区の特性を踏まえた住まい再建の方向性や安全性の向上の方策を検討する。

□集会所の再建とコミュニティの再生

- ・コミュニティの核となる施設の再整備。

□観光資源である“温泉”を活かしたまちづくり

- ・温泉の泉源は残っており、温泉を交流の場として活用し、地域活性化につなげる。

□農地の再生による生業の再建

- ・田んぼダムや営農意向のない農地の集約化。

□安全な避難路の整備

- ・避難所までの安全な避難路の整備を進める。

□避難所の機能拡充

- ・避難所における食料や日常生活用品の備蓄等の機能強化、適切な情報提供等の運用改善を図る。

□緊急避難場所の整備

- ・徒歩圏内での緊急避難場所を整備・指定する。

□適切な情報発信の実施

- ・正しい情報を迅速に伝える。

□全員が避難できる仕組みづくり

- ・小・河川の氾濫や避難にかかる時間を考慮した早めの避難。
- ・高齢者など要支援者の避難行動を支援する仕組み・体制づくり。
- ・避難時の移動手段の検討。

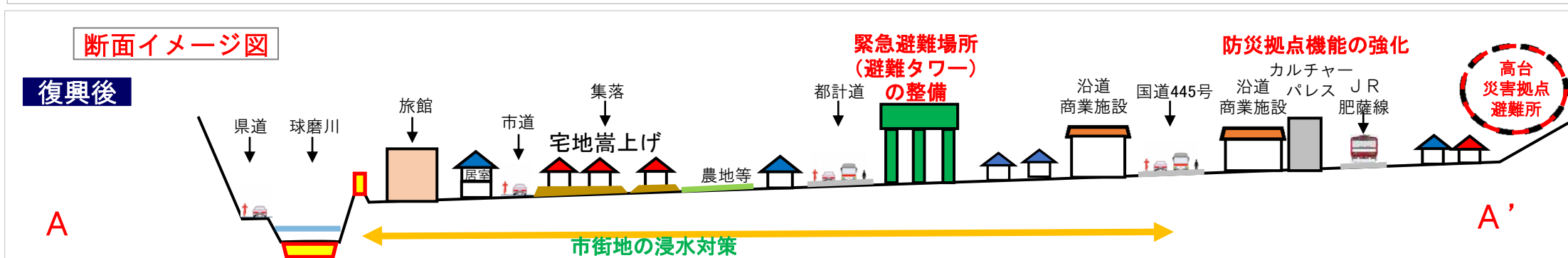
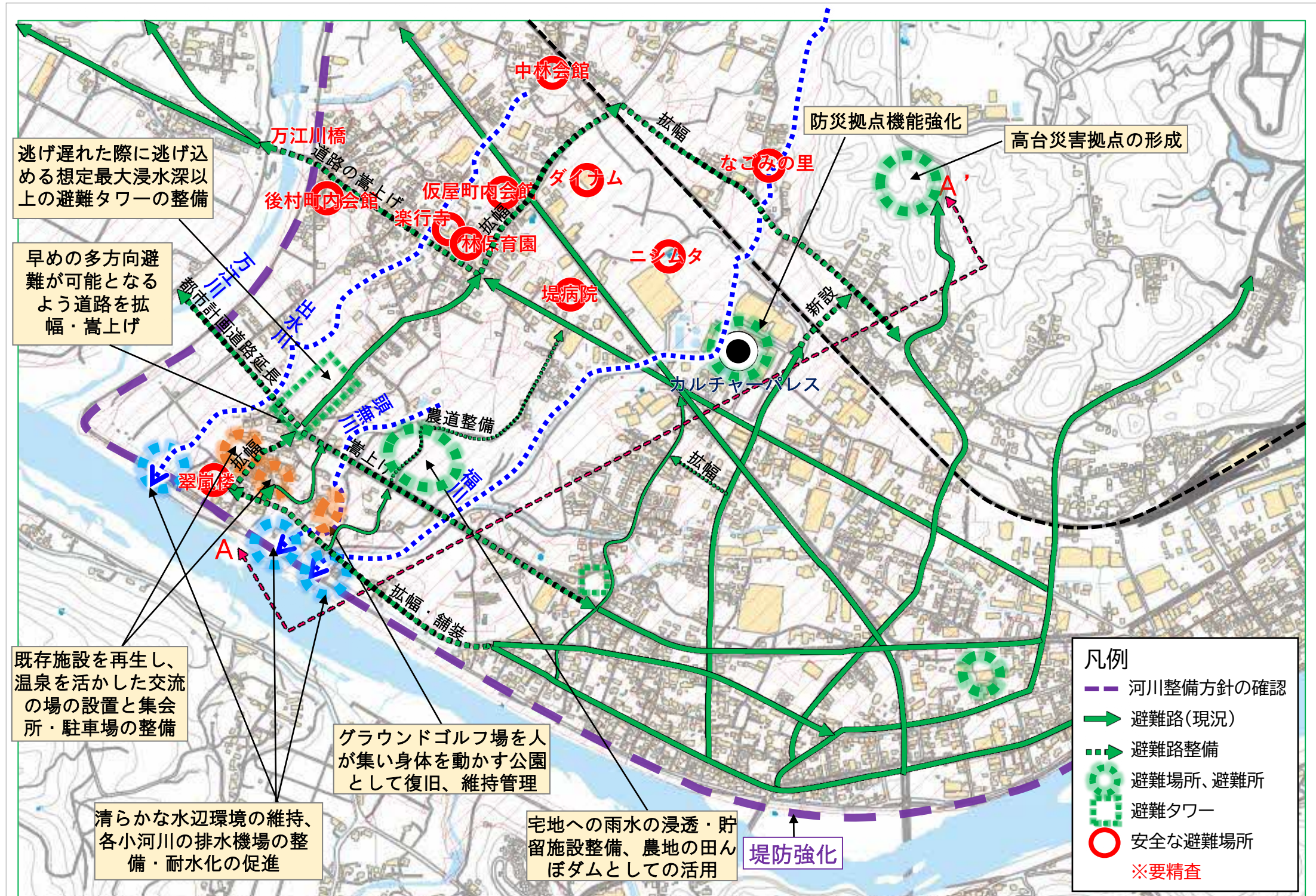
□小河川の氾濫対策の推進・促進

- ・放水路、排水機場等耐水化、低未利用地を利用した雨水浸透・貯留施設等による内水対策を進め、被害の軽減や避難時間の確保を図る。

□流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下

- ・国、県による流域治水の取り組みと連携したまちづくりの実施。

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくりのイメージ（案）です。具体的な取り組み内容は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。



中神地区 復興まちづくりイメージ(たたき台:遊水地なしの場合)

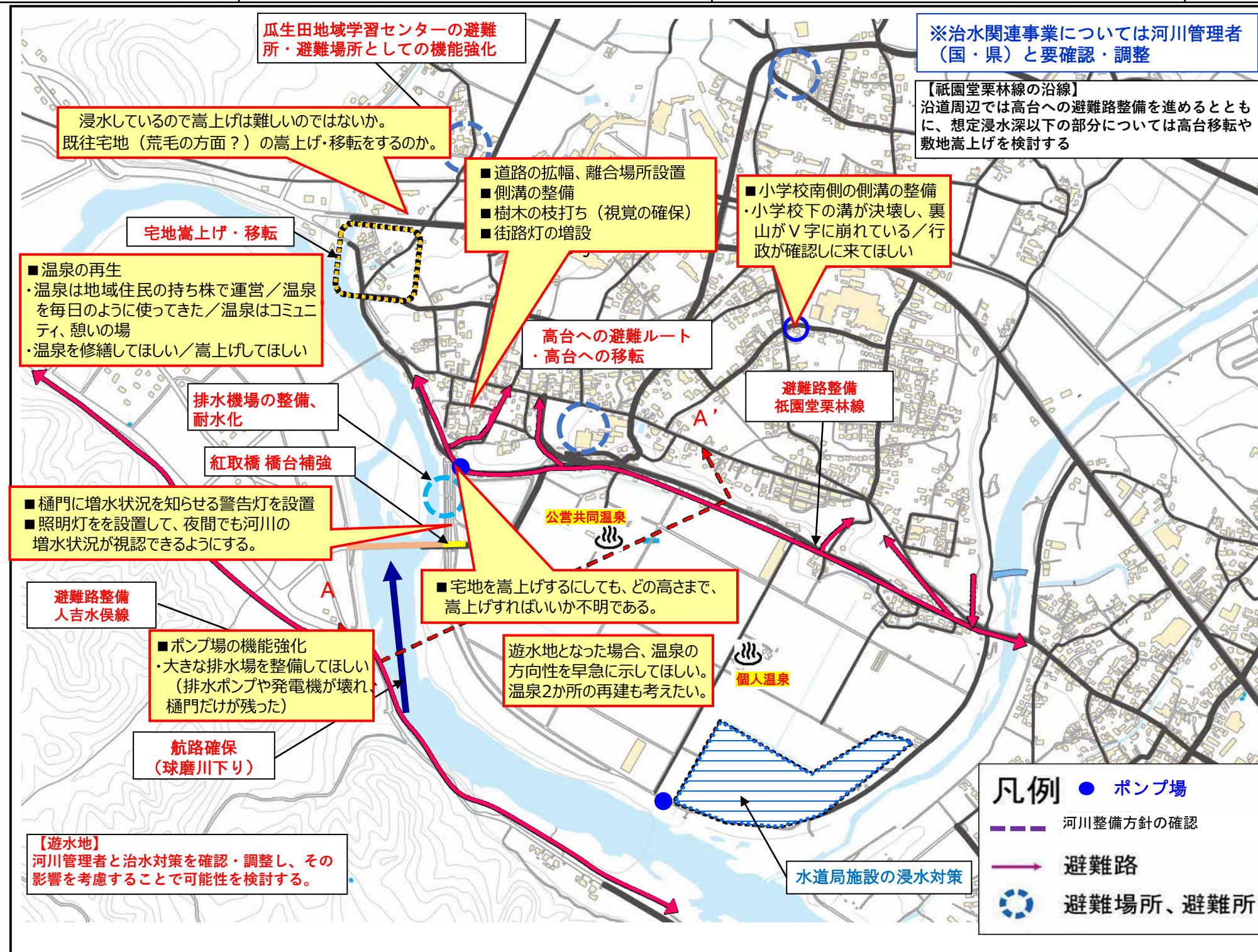
取組み方針

□□住まいの再建における安全性の向上
□コミュニティの再生

□農地復旧・農業の継続

□安全な避難路の整備
□避難所の見直し・機能拡充
□自助共助の避難体制の構築

□遊水地に関する情報提供
□本川・支川の水位の低下
□治水対策、流域治水
□治山対策 □自然環境や地域景観の継承



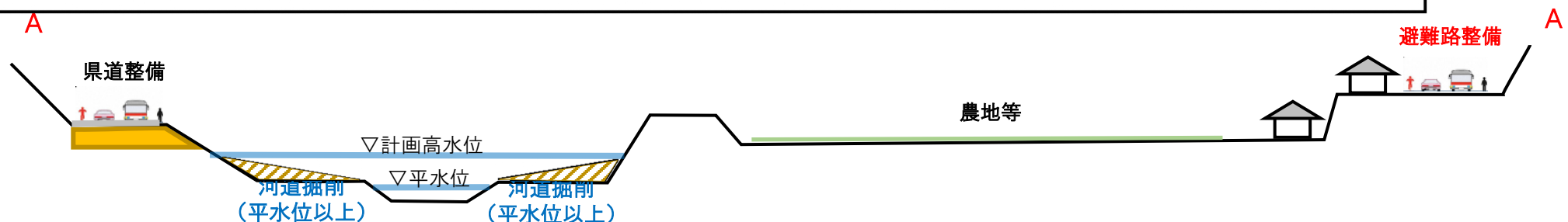
※流域治水（遊水地）については、国の測量や地質調査を踏まえた検討、および、市の意向調査の結果を踏まえて、協議・調整中。その状況次第で、住まいや農地の現地復旧や移転について、今後検討予定。

【流域治水（遊水地）についてのご意見】

- ・遊水地の面積と掘る深さ＝貯水量の目標
→国交省は分かっているのではないかな
- ・景観上のことが気になる
- ・掘り込み式は農業者の仕事を奪う
- ・機能や土地利用も考慮せねばならない
- ・遊水地は下流のためのもので上流との協力も必須である→上流部の協力推進
- ・小さな面積希望。
掘り込みは△
→東京の事例を基にできないか

- ・城本地区は遊水地反対の住民が多い。遊水地整備と分けて人吉の、中神の復興まちづくりを考えていきたい。
- ・治水事業では中神の遊水地ばかりが説明されているが、人吉を守る上流の遊水地事業の進捗状況も説明して欲しい。流域治水なのであれば流域全体での治水事業の進捗を知りたい。
- ・これまで2回の懇談会で出された意見がどのように検討されているのか。住民が意見を出すばかりでその意見に対して行政からの反応が欲しい。（あきだん坂の拡幅、市道下の集落内道路の袋小路解消、など）
- ・アンケートでは詳細に記載してもなかなか思いが伝わらない。被災した住民の細やかな情報が把握できていないのでは無いか（特に仮設住宅以外で避難されている方）

断面イメージ図



河道掘削
(平水位以上)

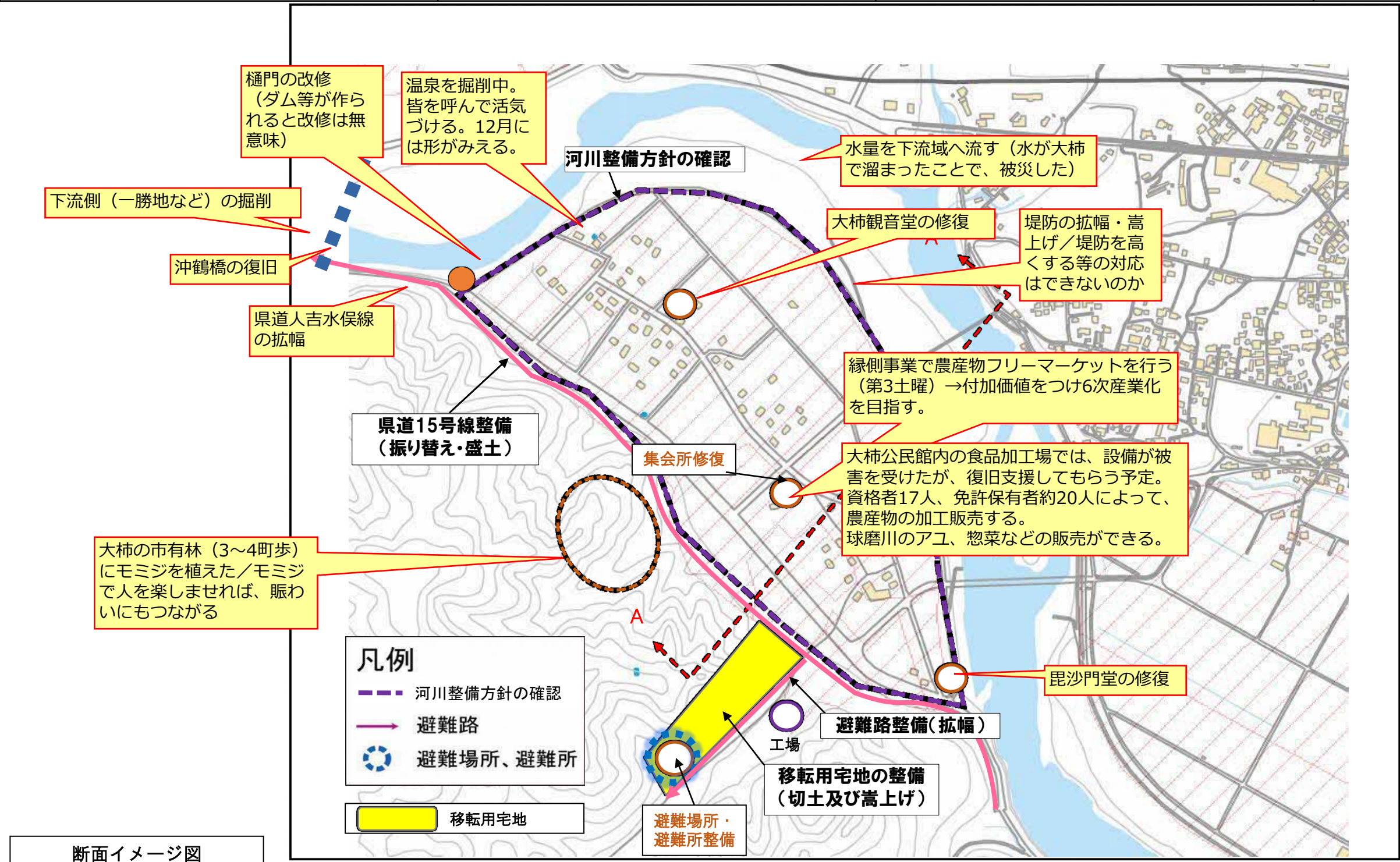
小柿地区 復興まちづくり計画（たたき台）

取組み方針 (課題解決のための取組み方針の柱)
住まい再建における安全性の向上 ・現地での住まいの修復や再建など、早急な生活再建を図る。
コミュニティの再生、公民館の再生 ・小柿地区内の組・班の編成を見直し、公民館や地域資源を活かした地域づくりを行う。
農地の再生による生業の再建 ・被災した農地を復旧し、生業の再建を図る。
安全な避難路の整備 ・県道人吉水俣線の早期復旧や三日原団地へのアプローチ道路の拡幅・歩道の整備など、高台や避難所までの安全な避難路の整備を進める。 避難所の機能拡充 ・指定避難所（中原小→西瀬小）・自主避難所の見直し、三日原団地の避難所としての整備など、コロナに対応した避難所の分散化、避難所の機能強化を図る。 自助共助の避難体制の構築 ・避難情報の確実な伝達を行った上で、町内での共助により要支援者の避難行動を支援する仕組みや体制づくりを進める。
本川・支川の水位の低下 ・上流から下流、集水域から氾濫域までの治水対策を総合的に取り組む。 治山対策 ・小柿谷等の斜面崩壊箇所を復旧し、小柿谷の砂防ダムの適正な管理を行う。 防火対策 ・消防水利の整備（消火栓、防火水槽）を進める。



大柿地区 復興まちづくりイメージ(たたき台:遊水地なしの場合)

取組み方針			
□□住まいの再建における安全性の向上 □コミュニティの再生、公民館の再生	□農地復旧・農業の継続	□安全な避難路の整備 □避難所の見直し・機能拡充 □自助共助の避難体制の構築	□遊水地に関する情報提供 □本川・支川の水位の低下 □治水対策、流域治水 □山の保水力・治山



※流域治水（遊水地）については、国の測量や地質調査を踏まえた検討、および、市の意向調査の結果を踏まえて、協議・調整中。その状況次第で、住まいや農地の現地復旧や移転について、今後検討予定。

【流域治水（遊水地）についてのご意見】

- 農地だけを引き堤とするなら地権者の了承だけでいいのではないかと。引き堤の説明は以前あり、意向を聞く交渉は必要との話がまとまっていた。（後は買取するだけだった）
- 既存の集落地の維持が可能な案であればまだ良い
- おおよそ以前の引き堤の範囲
- 最終的に大柿が遊水地となる場合は、併用方式（掘り込み方式＋地権者方式）なら了承可能かもしれない
- 新しい堤防にし、宅地は高上げ

- 遊水地に反対しているのになぜ遊水地ありきの議論を進めようとするのか。遊水地なしの治水対策や復興のビジョンを示して欲しい。
- これまでの住環境（農地含む）を取り戻したい。地役権や掘り込みといった手法の話でなく、元の状況に戻すことを原則として検討して欲しい。
- 外に出る人ことを希望している人もいるが、ここに残ることを希望している住民は、「宅地も農地も今の場所に今の規模で戻す」それ以外は考えられないという気持ちでいる。そこに妥協点はない。
- 「皆が来てくれる楽しい大柿」がよい。
- 基本は遊水地がなく、今の生活圏を守りながら、治水（水を下流に流す）を実現できるとよい
- 今の現状を大事に考えたい。農地を守りたい

